説明資料2

ICTを活用した不登校支援



令和3年10月28日 足立区総合教育会議

こども支援センターげんき 教育相談課長 楠山 慶之 あすテップ指導員 佐々木 美苗

目次

- (1) ICTを活用した不登校支援の概要
 - ア 支援の3つの柱
 - イ オンライン授業の実施への手順
 - ウ チャレンジ学級とあすテップ
 - エーオンライン授業で広がる選択肢
- (2)授業風景

動画で紹介します

(3) 指導員の感想、課題

ICT支援の3つの柱

「学習支援」「相談支援」「学習評価」を3つの柱とし、全ての不登校 児童・生徒に学びの機会を提供できる仕組みづくりを目指す。

学習支援

- ●自宅からの授業参加(オンライン授業)
- ●別室登校支援に対するICTの活用
- ●学校以外の居場所でのICT学習支援
- 学習評価
- ●学校以外の居場所での学習活動を評価

相談支援

- ●学校におけるICTを活用した教育相談
- ●ICTを活用した自宅からのオンライン教育相談
 - ※学校以外の居場所…自宅、チャレンジ学級、あすテップ等 3

オンライン授業の実施への手順

自宅にリアルタイムで授業を配信し、教室外からも、教室内で受ける 授業に近い状態で学ぶことができる環境を整えます。

■オンライン授業実施に向けた段階

STEP 3

STEP 2

学校(教室の授業)

STEP 1

チャレンジ学級⇔あすテップ

チャレンジ学級

⇔学校内の別室

最終目標

自宅から学校の授業に 参加できる環境を構築

10月から実施

チャレンジ学級⇔自宅

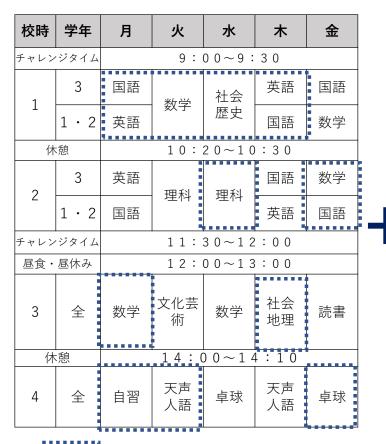
⇔自宅

チャレンジ学級とあすテップ

	あすテップ	チャレンジ学級
11 的	在籍校への復帰にとらわれない学習支援 社会的自立に向けた集団活動	学校復帰をめざした学習支援
❷指導場所	学校内	学校外
3支援内容	学校に準じた登校時間 学校施設の活用、給食実施	柔軟な登校時間、個別指導 コミュニケーション中心の支援も可
4制 服	在籍校の制服着用	制服でも私服でもOK
⑤ 在 籍	在籍校から通級(転校しない)	
6 対 象	中学生(学校内での指導に抵抗がない)	小中学生(学校外での支援の希望者)
7 教 員	退職非常勤教員(都費)、会計年度任用職員(区費)	
❸指導内容	学校の教育課程に近い (不登校特例校をめざした検証実施。特例校と類似の内容)	規定なし
9学習の評価	評価は行わない(在籍校に情報提供)

オンライン授業で広がる選択肢

【従来】 ①チャレンジ学級(綾瀬の例)



各所からのオンライン授業により、生徒が選択可

【追加】2オンライン授業



- 【な】あすテップなでしこ【は】あすテップはなほ

- 【竹】チャレンジ竹の塚

10と2の組み合わせで 支援の選択肢が拡大

- オンライン授業は【】の各 教室から配信。
 - 各学年共通、一斉授業 に対応できる科目で開始
- 各教室(自宅からもOK)の タブレットPCから参加可能
- 個別学習が必要な(オンラ インを希望しない)生徒は 各教室の授業を受講。

(参考) 不登校支援におけるICT活用実施計画 体系図

·不登校支援における ICT 活用実施計画 体系図

